

2020 年 3 月 11 日

オスカーテクノロジー株式会社の株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有するソフトウェアの並列化*技術を提供するオスカーテクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山田泰央、以下「オスカーテクノロジー」）の株式の全部を株式会社フィックスターズ（本社：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：三木聡、以下「フィックスターズ」）に譲渡することを決定しましたのでお知らせします。

*並列化：プログラム処理を複数の CPU で並列に分散して実行させる

オスカーテクノロジー株式会社について

設立 : 2013 年
所在地 : 東京都新宿区
代表取締役社長 : 山田 泰央
事業内容 : ソフトウェアの並列化サービス・コンサルティング
URL : <https://www.oscartech.jp/>

株式会社フィックスターズについて

設立 : 2002 年
所在地 : 東京都品川区
代表取締役社長 CEO : 三木 聡
事業内容 : マルチコアプロセッサ関連事業
URL : <https://www.fixstars.com/ja/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

【別添】

1. 対象事業者

オスカーテクノロジー株式会社

- ・ 設 立 : 2013 年
- ・ 代表者 : 代表取締役社長 山田 泰央
- ・ 所在地 : 東京都新宿区
- ・ 事業内容 : ソフトウェアの並列化サービス・コンサルティング

2. 支援決定概要

- ・ 支援決定金額 : 8 億円（上限）
- ・ 実投資額 : 4 億円
- ・ 共同投資家（シリーズ A）：未来創生ファンド、三生キャピタル株式会社
- ・ これまでの支援決定内容：
 - 支援決定公表日 2017 年 3 月 21 日、支援決定金額 2 億円（上限）、実投資額 2 億円
<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1490073659.01.pdf>
 - 支援決定公表日 2018 年 10 月 10 日、支援決定金額 6 億円（上限）、実投資額 2 億円
https://www.incj.co.jp/newsroom/PressRelease_INCJ_Oscar_20181010.pdf

3. 経緯

（1）出資の経緯

- ・ オスカーテクノロジーは、早稲田大学で開発されたソフトウェアの自動並列化技術の商用化を目指して設立されたベンチャー企業。同社は、独自の手法で逐次プログラムを自動的に並列化させることにより、マルチコア CPU*上でのプロセッサ処理の高速化および省電力化を実現するサービスを提供。

*一つの大規模集積回路の中に多数の CPU（Central Processing Unit）が搭載

- ・ INCJ は、同社の技術が第四次産業革命において必要とされる高性能なソフトウェア分野への貢献が期待されると考え、2017 年 3 月にオスカーテクノロジーに対して 2 億円を上限とする支援を決定し、同額の出資を実行。

（2）事業の進捗

- ・ オスカーテクノロジーは大学発技術シーズの商用化に向けて取り組み、事業会社との共同研究開発を推進した結果、車載 ECU（エンジンコントロールユニット）向けのソフトウェアパッケージの商用化を実現。
- ・ INCJ は同社の事業進捗を受け、対応言語の拡張や並列化機能の高度化などの開発費に充てるために、2018 年 10 月に 6 億円を上限とする追加出資を決定し、段階的な投資の初回として 2 億円の出資を実行。
- ・ INCJ は、オスカーテクノロジーに対して、社外取締役を派遣して経営面のサポートを

行ってきたほか、潜在顧客の紹介や幹部人材の採用などのハンズオン支援を行ってきた。

(3) Exit の経緯・内容

- ・ オスカーテクノロジーは大学発技術シーズの商用化を実現できたものの、自社だけでは車載事業以外の用途開拓が困難だという課題を抱えていた。INCJ がオスカーテクノロジーと議論を重ねた結果、同社の技術が幅広い産業に活用されるには、事業会社のもとで事業活動を継続する必要があると判断。INCJ が保有する同社の株式の全てを、事業目的を同じとするフィックスターズに譲渡することを決定。
- ・ オスカーテクノロジーは、今後フィックスターズのもとで、従来の車載領域に加えて、新たにロボティクス業界や通信・IoT 業界など他領域の開拓に乗り出す。
- ・ INCJ は、オスカーテクノロジーが、民間企業のもとで同社のビジネスを発展させ、産業の発展に寄与することを期待している。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を分析し、その反省に立って引き続きベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。

＜本発表資料のお問い合わせ先＞

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話：03-5218-7202